

令和3年度
事業報告

一般社団法人 日本工業用水協会

目次

1. 会 務	1
(1) 会員の現況	1
(2) 総会	1
(3) 理事会	2
(4) 監事会	4
(5) 協会運営委員会	4
2. 工業用水道事業の推進	5
(1) 令和4年度工業用水道事業施策に関する要望	5
3. 事 業	6
(1) 調査研究業務	6
(2) 出版に関する事業	8
(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業	10
(4) 工業用水道保険事業	10

1. 会 務

(1) 会員の現況

令和4年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	令和3年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	131		
事業者	117	1	1
利用者	14		
特別会員	39	1	1
関連産業会員	37	1	
名誉会員	4		
計	211	3	2

顧問：3名（内名誉会員が3名）（議決権対象は207会員）

(2) 総会

(2) . 1 臨時総会

日 時 令和3年4月23日（金）

場 所 日本工業用水協会 会議室

会員数 205会員（議決権対象会員）（令和3年4月1日現在）

出席会員 1社員

代理出席会員 0社員

委任状提出会員 0社員

議決権行使会員 175社員

計 176社員

次 第 議 題

議案 理事4名選任（案）

概 要

総会運営要領に基づいて会長代行の日本工業用水協会岩井昭則専務理事を議長に選出した。

会員数及び出席会員数は上記のとおりであり、会員数205社員の過半数以上の出席を得ていることから、定款第18条第1項の規定により、本臨時総会が成立している旨の報告を行った。

定款第18条第3項に基づき、次の役員候補者ごとに決議を行い、異議なく承認可決され、候補者全員が原案のとおり選任された。

理事 飯田 靖 殿、 原部 修一 殿、 東海 明 殿
 中西 健 殿

(2) . 2 第9回定時総会

今般の新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、感染拡大を防止する観点から、会員の安心、安全を確保することを最優先に配慮し、出席会員による開催とした。

日 時 令和3年6月11日(金)
場 所 日本工業用水協会会議室
会員数 206会員(令和3年6月11日現在)
出席会員数 出席会員 1社員
代理出席会員 0社員
委任状提出会員 3社員
議決権行使会員 138社員
計 142社員

議 題

I 議案

- 第1号議案 令和2年度事業報告(案)
- 第2号議案 令和2年度決算報告書(案)及び監査報告書
- 第3号議案 役員選任の件

II 報告事項

- (1) 令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算書
- (2) 令和4年度工業用水道事業施策に関する要望事項

概 要

総会運営要領に基づき、会長代行の日本工業用水協会 代表理事である岩井昭則専務理事を議長に選出した。

会員数及び出席会員数は上記のとおりであり、会員数206社員の過半数以上の出席を得ていることから、定款第18条第1項の規定に基づき、本定時総会が成立している旨の報告を事務局長青柳伸一が議長に行った。

定款第40条第1項に基づき、第1号議案、第2号議案、3号議案について決議を行い、異議なく承認可決された。

理事 田 中 剛 殿 他12名は重任
監事 3名は重任

(3) 理事会

(3) . 1 第47回理事会(書面審議)

日 時 令和3年3月31日(水)
議 題 令和3年度臨時総会の招集に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し正司会長名で、臨時総会招集承認に係る書面決議を提案し、3月31日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

(3) . 2 第48回理事会(書面審議)

日 時 令和3年5月7日(金)
議 題 代表理事(副会長)の選定に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し岩井専務理事名で、代表理事（副会長）選定承認に係る書面決議を提案し、5月7日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

代表理事 副会長 飯 田 靖 殿

(3) . 3 第49回理事会（書面審議）

日 時 令和3年6月4日（金）

議 題 第1号議案 令和2年度事業報告（案）
第2号議案 令和2年度決算報告書（案）及び監査報告書
第3号議案 入会の承認（案）
第4号議案 会長表彰受賞候補者の選考（案）
第5号議案 令和4年度工業用水道事業施策に関する要望事項及び実施（案）
第6号議案 令和3年度第9回定時総会招集及び議題並びに議案概要（案）

報告事項

(1) 令和2、3年度のこれまでの事業経過報告

定款第36条に基づき、役員に対し正司会長名で、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の提案書を発し、6月4日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

(3) . 4 第50回理事会（書面審議）

日 時 令和3年6月25日（金）

議 題 代表理事（副会長）の選定に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し岩井専務理事名で、代表理事（副会長）選定承認に係る書面決議を提案し、6月25日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

代表理事 副会長 田 中 剛 殿

(3) . 5 第51回理事会（書面審議）

日 時 令和4年2月18日（金）

議 題 第1号議案 令和4年度事業計画（案）
第2号議案 令和4年度収支予算書（案）
第3号議案 入会の承認（案）

報告事項

(1) 令和3年度のこれまでの事業経過報告

(2) 各種委員会等報告について

定款第36条に基づき、役員に対し正司会長名で、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の提案書を発し、2月28日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

(4) 監事会（書面審議）

日 時 令和3年4月28日（水）

監 事 福島県企業局 井戸川次長
大分県企業局 塩月参事監兼総務課長
大成機工株式会社 鈴木代表取締役社長

概 要

定款第24条（監事の職務及び権限）に基づき、監事会（書面審議）で監事による令和2年度事業報告、決算報告書の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

(5) 協会運営委員会

(5) . 1 令和3年度第1回協会運営委員会（書面審議）

日 時 令和3年5月18日（火）

議 題 1) 第49回理事会提出議案について
2) その他

概 要

今般の新型コロナウイルス感染防止の観点から、協会運営委員会を書面で審議を行うこととした。

その結果、すべて原案どおり了承され、理事会に諮ることになった。

(5) . 2 令和3年度第2回協会運営委員会（書面審議）

日 時 令和3年12月23日（木）

議 題 1) 第51回理事会提出議案について
(1) 令和4年度事業計画（案）
(2) 令和4年度収支予算書（案）
(3) 入会の承認（案）
2) その他（報告事項について）
① 令和3年度のこれまでの事業経過報告について
② 各種委員会等報告について

概 要

今般の新型コロナウイルス感染防止の観点から、協会運営委員会を書面で審議を行うこととした。

その結果、すべて原案どおり了承され、理事会に諮ることになった。

2. 工業用水道事業の推進

(1) 令和4年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 令和3年7月28日(水)

参加者 岩井専務理事、青柳事務局長

概 要

今般の新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、感染の拡大を防止する観点から、会員各位の健康と安心、安全を配慮し、今年度予定していた国への施策要望活動は、事務局主体で実施した。

第49回理事会で承認された要望事項等について、経済産業省、総務省、国土交通省水管理・国土保全局等へ要望を行った。

3. 事業

(1) 調査研究業務

(1) . 1 工業用水道事業研究大会（中止について）

工業用水道事業研究大会については、協会が進める公益事業の一環として毎年度、全国の事業者会員各位のご協力をいただきながら、工業用水道にかかわる共通の課題について、事例発表、集中討議そして意見交換を通し研鑽の場としている。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る観点から今年度の事業研究大会については中止することにした。

なお、ご回答いただいている今年度の事業研究大会課題に対する事例・取組状況等のアンケート調査については、結果集計後、統計処理し「事業研究大会資料」として全会員に送付した。

(1) . 2 第57回研究発表会（オンライン開催）

研究発表会については、協会が進める公益事業の一環として毎年度、全国の事業者会員並びに関連産業会員各位のご協力をいただきながら、工業用水道にかかわる多様なテーマについて事例を発表していただき、その後の質疑応答を通して会員の研鑽の場としている。

今年度の研究発表会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図る観点からオンラインを有効活用して、記念基調講演、研究発表者による講演等の動画ファイルを専用ホームページから聴講することで実施した。

なお、講演及び発表内容の質問等は、後日、事務局経由でメールにより対応した。聴講参加期間は令和4年3月1日～31日とした。

(1) . 3 経営委員会・技術委員会（合同委員会）（書面審議）

日時 令和3年5月20日（木）

- 議題
- 1) 令和3年度工業用水道事業研究大会について
 - (1) 検討課題の選定について
 - (2) スケジュール・開催（案）
 - 2) 令和4年度工業用水道事業施策要望について
 - (1) 施策要望項目等について
 - (2) 要望の手順について
 - 3) その他

概要

研究大会検討課題について、原案通り決定した。

指定課題（課題のみ表示）

1. 施設強靱化に向けてのBCPの策定（技術関係）
2. AIやIoTの活用（技術関係）
3. 工業用水事業者の経営改善（経営関係）
4. デジタル技術等による広域化・民活の推進（経営関係）
 - 1) コンセッション方式の導入
 - 2) 監視制御装置の調達

自由課題

1. 小水力発電（技術関係）
2. 管路更新におけるDB方式（技術関係）

3. 河川の事前放流（技術関係）
4. スマートメーター（経営関係）
5. 減量負担金の算出（経営関係）
6. 資産維持費の導入（経営関係）
7. ダム再生計画による施設改良費負担金（経営関係）

令和4年度事業施策要望の実施案をとりまとめ、理事会に諮ることとした。

(1) . 4 編集委員会（後述の編集委員会第5回参照）

日 時 令和3年12月23日（木）

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長ほか委員・リモート参加委員等18名

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、5月号までの編集を行った。

論文賞の選考と日刊工業新聞社賞の選定を行った。

(1) . 5 関連産業委員会（休会について）

関連産業委員会につきましては、協会事業の一環として毎年度、全国の工業用水事業体にご協力をいただきながら、工業用水道施設の先進事例やご当地の受水企業を視察し関連産業会員各位の研鑽の場としている。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、感染の拡大を防止する観点から、委員各位の健康と安心、安全を確保することを最優先に配慮し、令和3年度予定しておりました関連産業委員会は休会することにした。

(1) . 6 その他

(1) . 6 ①情報の提供関連

令和3年9月に、昨年3月末時点の工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を収集整理し、事業者会員はじめ全国の工業用水道事業者、経済産業省及び（独法）水資源機構に情報提供を行った。また、昭和52年から令和2年度末までの工業用水道料金の推移を収集整理し、事業者会員を中心に情報提供を行った。

(1) . 7 ②水道分野における官民連携推進協議会

（厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催）

概 要

厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を、厚労・経産両省主催、日水協・工水協共催で開催した。

開催状況

第1回協議会

令和3年 9月30日（木）（ウェブ会議形式）

第2回協議会

令和3年 11月18日（木）

ACU-A（アスティ45）（北海道札幌市）

第3回協議会

令和3年 12月10日(金)
沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)
第4回協議会
令和4年 2月8日(火)(ウェブ会議形式)

(2) 出版に関する事業

(2) . 1 編集委員会

(2) . 1 ①編集委員会(第1回)(ウェブ併用会議形式)

日時 令和3年4月27日(火) 14:00~14:40

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等14名(ウェブ参加含む)

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課下館課長補佐 ほか1名 (ウェブ参加含む)

次 第 議 題

1) 5月号の確認、7月号・9月号の編集について

2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、9月号までの編集を行った。

(2) . 1 ②編集委員会(第2回)(ウェブ併用会議形式)

日時 令和3年6月18日(金) 14:00~14:40

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等13名(ウェブ参加含む)

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課下館課長補佐 ほか1名 (ウェブ参加含む)

次 第 議 題

1) 7月号の確認、9月号・11月号の編集等について

2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、11月号までの編集を行った。

(2) . 1 ③編集委員会(第3回)(ウェブ併用会議形式)

日時 令和3年8月26日(木) 14:00~14:40

場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等14名(ウェブ参加含む)

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課経産省小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

1) 9月号の確認、11月号・1月号の編集について

2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、1月号までの編集を行った。

(2) . 1 ④編集委員会（第4回）（ウェブ併用会議形式）

日 時 令和3年10月22日（金）14:00～14:50

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等14名

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

- 1) 11月号の確認、1月号・3月号の編集について
- 2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、3月号までの編集を行った。

投稿原稿の増加に向け、会員が投稿しやすい環境創りについて議論を行った。

(2) . 1 ⑤編集委員会（第5回）（ウェブ併用会議形式）

日 時 令和3年12月23日（木）15:00～16:20

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等16名（リモート参加含む）

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

- 1) 1月号の確認、3月号・5月号の編集について
- 2) 論文賞等の選考について
- 3) 第57回研究発表会について
- 4) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、5月号までの編集を行った。

論文賞と日刊工業新聞社賞の選定を行った。

第57回研究発表会は、オンライン形式で実施すること報告した。

(2) . 1 ⑥編集委員会（第6回）（ウェブ併用会議形式）

日 時 令和4年2月18日（金）14:00～15:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等13名（リモート参加含む）

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

- 1) 3月号の確認、5月号・7月号の編集について
- 2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、7月号までの編集を行った。

(2) . 2 出版図書

- ① 会誌「工業用水」令和3年5月号～令和4年3月号 (No. 666～671)
- ② 会員名簿 (2021年度電子データ)

(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(3) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設備、検査法、品質管理等について審査を行った結果、下記5事業場を認定工場として承認した。

認定更新日	認定番号	認定事業場名	認定の対象となる製品の名称
3・4・1	日工協認第35号	前澤工業(株) 埼玉製造所	弁類
3・4・1	日工協認第36号	(株)クボタ 枚方製造所	弁類
3・4・20	日工協認第31号	幡豆工業(株)	ダクタイル鋳鉄異形管 弁類
3・6・30	日工協認第11号	JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所	水輸送用塗覆装鋼管直管及び異形管
3・8・1	日工協認第60号	コスモ工機(株)秋田工場	塗膜装鋼管異形管・不断水用バルブ 伸縮可撓管ほか

(3) . 2 工業用水道管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を(公社)日本水道協会に委託して行った。

(4) 工業用水道保険事業

平成27年度に創設した、工業用水道賠償責任保険及び工業用水道機械設備損害保険について、延べ27件の加入状況となっている。

工業用水道賠償責任保険 22事業体

工業用水道機械設備損害保険 5事業体

